

# 協会臨時総会

## 総務委員会

平成13年10月24日、平成13年度東北地質調査業協会臨時総会が、福島県郡山市内のホテルハマツに於いて、開催されました。会員100社中46社出席、委任状54社で規約により会員の半数以上出席を得ているので、総会は成立しているとの報告がありました。

### 1.宮川理事長挨拶

今後協会の会員にとってプラスとなる活動をしていく。そのためには会員相互の親睦を深めるため、協会活動について会員の理解を得られるようにすることが必要であり、その施策として

- ①委員会に任期制を導入し、多くの会員から委員会への参加と委員の若返りを図った。
- ②経営基盤の強化としてCAL/EC講習会、若手技術者セミナーを積極的に開催した。
- ③協会の社会的地位向上を目指して東北地方整備局との意見交換会を行う準備を開始した。

また、談合問題では当協会会員は、不正な取引はしないことと、各社の企業倫理確立をお願いしたい。今日の大きな議題である会費改定について十分にご審議をお願いしたい。との挨拶が有りました。

### 2.議長選出

規約第20条5項により、宮川理事長が議長に選出されました。

### 3.議事録署名人推薦

- (株)東京ソイルリサーチ東北支店長  
飯村 次雄氏
- (株)東建ジオテック東北支店長  
工藤 良廣氏

### 4.議事

#### (1)平成13年度事業中間報告

- ①三塚副理事長より全国地質調査業協会

連合会の総会、理事会、事務局長会議、各種委員会、技術フォーラムに関する事項の報告。

- ②三塚副理事長より対外関係に関する発注機関への講師派遣、東北地方整備局との意見交換会等事項の報告。
- ③各委員会より東北地質調査業協会に関する事業内容の実施報告及び今後の実施予定の報告があり、異議なく承認された。

#### (2)平成13年度収支会計中間報告

松測事務局長より会計中間報告があり、異議なく承認された。

#### (3)会費問題について

大友総務委員長より、我々地質調査業を取り巻く営業環境がますます厳しさを増す中において、協会は少ない会費で、これまで以上に会員の技術向上や社会的な地位向上を果たすための事業活動を行う必要があると判断し、役員会や委員長会議において会費値下げと事業内容の見直しに関する作業を鋭意進めてきた。その結果10%削減しても、当協会の事業活動は維持・発展できるという見通しを得たので、会費改定の提案が示され承認された。

なお、中央業者のランク見直しに関する合理的な方策を今回提案できなかったが、継続して検討していく予定である。

また、会費削減額に伴い①委員会の統廃合し、を現在の常設委員会を4委員会に統合する。委員は公募制にし、多くの会員から委員を募る。

- ②親睦行事は参加者費用負担強化③電子メールなどを活用して、通信・交通費を削減する提案が示された。

#### (4)閉会

臨時総会を滞りなく終了しました。

引き継ぎ、郡山市内を一望できる場所で懇親会が開かれ盛会のうちに終了しました。